

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	23	—	事業名	清掃センター運営事業	担当部課	くらし文化部環境課
------	----	---	-----	------------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	1	万博理念を継承し、自然・環境にこだわるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	2	ごみの減量化・資源化を進める	款	4	衛生費
		施策の進め方	2	ながくてエコハウスの活用	項	2	清掃費
	まちづくり 行程表	フラッグ	F3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～	目	1	清掃費
		政策分類	8	地球にやさしい低炭素社会をつくる	大事業	4	清掃センター運営事業
	その他(関係法令、要綱等)	一般廃棄物処理基本計画、清掃センターリユース掲示板運営要領、清掃センター子ども服・図書リユース事業実施要領					
事業開始の背景、経緯等	平成16年3月策定の一般廃棄物(ごみ)処理基本計画において、資源化センター的な施設の整備を掲げる。平成19年清掃センター(ながくてエコハウス)開館						

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民が清掃センター(エコハウス)を利用するにあたり、以下を実施 ①清掃センター(エコハウス)の適切な維持・管理・運営 ②資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品(子ども服、図書等)の回収配布					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。					
	事業を構成する事務事業	① 清掃センター運営事業	拡充	④			
	②		⑤				
	③		⑥				

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			7,385	8,617
決算						7,841	7,813	
人件費(B)	千円	決算			5,347	7,121		
総コスト(A)+(B)	千円	決算			13,188	14,934		

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 家庭系1人1日あたりのごみ排出量 (資源ごみ、集団回収ごみを除く)	g	目標	533	525	516	508	500
			実績	524	504	483	474	
	B 資源回収量	kg	目標	3,805,908	4,010,556	4,213,601	4,386,682	4,513,239
実績			3,756,206	3,590,281	3,589,173	3,481,359		
C 資源化率	%	目標	26.90	27.80	28.70	29.60	30.50	
		実績	26.24	25.61	26.08	25.78		

【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)

A 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。一般廃棄物処理基本計画に掲げる目標値から算出して設定

B 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。

C 資源として回収することで、ごみの減量につながるため。資源化するごみの量÷ごみの排出量

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) ・日進市エコドーム、公園等100か所以上に資源回収場所がある。 ・尾張旭市リサイクル広場、リユース機能が充実している。 ・瀬戸市資源リサイクルセンター、イベント・講座が充実している。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 家庭系1人1日あたりのごみの排出量は成果指標の目標値を達成できているが、資源回収量、資源化率は学生や単身世帯等のごみ減量意識が低いと思われることから目標値を達成できていない。ただし、資源回収量は、ごみ(資源)として出される量が増えれば良いとは考えていない。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民のエコ意識の高まりとともにエコハウスの駐車場が混雑する。拠点がか所であるため、遠方の方のニーズに対応できていない。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者も増加していることから、他の地域において、常設型や移動型も含め、エコハウスで分別収集している機能(品目)の一部設置を検討し、利便性の向上を図る。平成29年度中に直営だけでなく、委託、民間等による設置も検討し、方向性を決定する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 10年程度先には、まちづくり協議会とも連携し、地域による資源の回収システムを作り、ごみの減量化・資源化を推進する。

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		清掃センター運営事業									
番号	①	事務事業名	清掃センター運営事業	款	4	項	2	目	1	大事業	4	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成19年度	終了（予定）年度	-								

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市民が清掃センター（エコハウス）を利用するにあたり、以下を実施 ①清掃センター（エコハウス）の適切な維持・管理・運営 ②資源回収ステーションでの資源回収及び再資源化、リユース倉庫での不用品（子ども服、図書等）の回収配布
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	環境への関心を高め、ごみの減量及び資源化に取り組む。

2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			7,385	8,617	7,840
		決算			7,841	7,813	

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
資源回収ステーション利用者数	人	目標	120,000	140,000	150,000	160,000	180,000
		実績	129,057	153,687	165,306	181,429	
資源回収量	kg	目標	3,805,908	4,010,556	4,213,601	4,386,682	4,513,239
		実績	3,576,206	3,590,281	3,589,173	3,481,359	

4. 事務事業を取り巻く環境変化

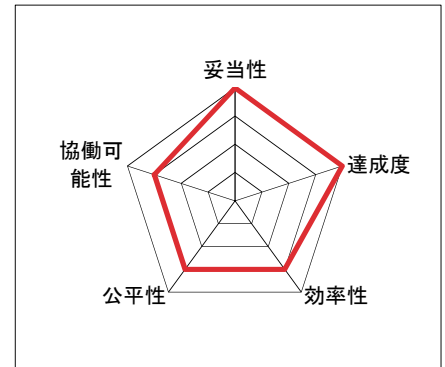
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
<ul style="list-style-type: none"> 日進市エコドーム、公園等100か所以上に資源回収場所がある。 尾張旭市リサイクル広場、リユース機能が充実している。 瀬戸市資源リサイクルセンター、イベント・講座が充実している。

5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者も増加していることから、他の地域において、常設型や移動型も含め、エコハウスで分別収集している機能（品目）の一部設置を検討し、利便性の向上を図る。
(何をどのような状態に改善したのか)
資源回収ステーションにおいて、資源の売却ランキングやごみ・資源の処理費推移等を表示し、市民の環境へ関する関心を更に高めた。また、羽毛ふとんの回収を開始し、ダウンのリサイクルを推進した。機能（品目）の一部設置については、再検討とした。

6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	4
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
資源回収ステーションにおいて、資源の売却ランキングやごみ・資源の処理費推移等を表示し、市民の環境へ関する関心を更に高めた。また、羽毛ふとんの回収を開始し、ダウンのリサイクルを推進した。

【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
エコハウス機能の一部設置について検討し、実施計画、予算計上したが認められず、進められなかったため、新たな方法により設置を検討していく。

7. 今後の方向性

拡充

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
市民のエコに対する意識は年々高まってきており、エコハウスの利用者も増加していることから、他の地域において、常設型や移動型も含め、エコハウスで分別収集している機能（品目）の一部設置を検討し、利便性の向上を図る。平成29年度中に直営だけでなく、委託、民間等による設置も検討し、方向性を決定する。